

県体育協会功労賞に荒川さん

空手道の普及・発展に尽力



荒川 登氏郎さん

船越の荒川登氏郎さん(65)が、スポーツの振興や発展に貢献した方に贈られる県体育協会功労賞を受賞しました。荒川さんの長年にわたる空手道での活動に対し功績

が認められたものです。昭和60年に山田空手道協会に入会した荒川さんは、20年以上にわたり少年団や高校生一般の指導者として活躍するとともに、同協会の運営に積極的に携わり、当町空手道の普及・発展に尽力しています。荒川さんは「とても光栄に思います。長く子供たちを見てきたが、逆にこちらが元気をもらっています。空手道は奥が深くやりがいのある武道。子供たちとともに、これからも修行を続けていきたい」と話していました。

人権擁護委員を務めた湊さんに感謝状を贈呈

長年にわたり人権擁護委員を務め、本年6月に退任した北浜町の湊多喜郎さん(77)に対し、法務大臣から感謝状が贈られました。伝達式は7月3日、役場町長室で行われ、盛岡地方事務局宮古支局の菊地一雄支局長が湊さんに感謝状を手渡し、長年の労をねぎらいました。

平成6年に人権擁護委員に着任以来15年間にわたり町民の人権相談に尽力してきた湊さん。「周りの皆さんのお陰で長年務めてこられた。これからは一町民として穏やかに暮らしたい」と話していました。



感謝状を受け取る湊さん

明るく住みよい地域づくりに貢献

轟木小とわかば幼稚園が日本善行表彰を受賞



轟木小学校の代表が町長を訪問、受賞を報告しました(6月29日)

轟木小学校とわかば幼稚園大黒舞が、社団法人日本善行会(川村皓章会長)が実施する春季善行表彰を受賞しました。これは、明るく住みよい社会環境をつくることを目的に毎年春と秋の2回行われているもので、今回は全国で323の個人と団体が受賞。同会岩手県宮古支部の伝達式は6月27日に宮古市で開かれ、それぞれに賞状と盾が贈られました。

公共生活への貢献部門で表彰を受けた轟木小

は、昭和60年から行っている収穫祭「とどろき祭り」での地区住民との連携や、通学路の清掃活動、老人介護施設の訪問など、幅広い活動が評価されたものです。同校の山根洋子校長は「この受賞は、体験田活動などで日ごろからお世話になっている地域の方々とともにいたったもの。皆さんに感謝するとともに、これからも子供たちを守ってほしい」と話していました。

自然と文化財愛護への貢献部門で表彰されたわかば幼稚園は、昭和57年から郷土芸能「大黒舞」に取り組み、福祉施設への訪問や地区行事への参加など地域に根ざした活動が認められたものです。同園の芳賀キ工園長は「長内地区の七福神から教育活動に取り入れたのが始まりで、長い間子供から子供へと受け継がれている。これからも皆さんに喜ばれる活動を続けていきたい」と話していました。



元気な笑顔を見せるわかば幼稚園の園児たち